

○EP
A B C D E F

点を提出しました

学生番号 氏名
8256 本間 美雪

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。
空 大家族

すごくきれいな絵だなあと思いました。鳥のシルエットで青空が描かれているのが
まわりの黒くて重い空と冷たい海と対比されていて鳥のシルエットが目立っていて
すごくきれいな絵だなあと思いました。海の波の描き方がすごく上手いなあと思いました。
雲の重い感じがより鳥のシルエットを際立たせているなと思いました。どう
して鳥のシルエットなのかなと思いました。青空と幸福の青い鳥をにかけているのか
それとも重く深い背景から飛び立つ自由の象徴の鳥なのかなと思いました。
遠くが明るくなっているのは今が暗くてもこれから先明るくなるということ
なのかなと思いました。絵の中の暗くて重い感じと明るくさわやかな正反対のイ
メージが両方とれて不思議に調和しているなと思いました。
まず、タイトルを聞いてびっくりしました。まさしく想像していたものと正反対で、
しかも絵の中に描かれたものたちに意味がな...と聞いて更にびっくりしました。
その意味のないものたちが絵を見て受けとる側に自由な解釈と感想を生む
のなかなあと思うととても面白いです。清潔な明るさとゾクとする感じというのが
聞いていてとてもよくわかるなと思いました。この人の作風が若い頃にもう
定まっていたというのをおもひがきました。私は勝手に60才くらいのおじいちゃん
がいろいろな作風を経てどっついた境地みたいなものだと思っていたの
で若いうちにこんなにきれいな自分の世界ができていっているのがとてもすごい
なと思いました。どうしてこのような作風になったのか、マグリットのあ
たちがすごく気になりました。

○印

図

A B C (D) E F

2

点を提出しました

学生番号

氏名

8245

大和田 夏菜

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

「鳥」 (7)

鳥がいます。ずいぶん大きな鳥ですね。そして鳥の姿の部分だけ
晴れた空になっていて、その他の部分はどんよりと暗い曇り空に
なっている海辺。この鳥は何という種類の鳥なのでしょう。か。
私はハトに見えます。あくまで私の個人的な考えですが、暗い空に
青空のハトっぽい鳥を出現させているのは、平和を表現したか。
たからなのではないのかなと思いました。鳥がやさしい感じがします。
何でやさしそうに見えるのか。色が淡く、鳥のタッチもやわ
らかそうな感じがするからです。やわらかい感じだけど鳥の
形はしっかりとらえて、ちゃんとはばたいています。暗い空を晴れさ
せる能力でも持っているのでしょうか。あと思ったのは鳥は別にリアル
じゃないけど海が具象的に描かれているなというところです。
とてもリアルな曇り空の目によく見そうな海です。冷たそうで寒さを
感じます。

(動画を見て) 題名が予想をくっかえされました。ええ、「大家族」
!? どこか?? どの辺が家族感するんだ!? (混乱) 絵に意味
はなかったのでしょうか。何だか勝手に色々考えた自分がはず
かしくなってきました。マグリットの他の作品を見ると、だまし絵が
たくさん描かれていますね。ちょっと(私にはかなり?)ゾッとすもの
もあって、やさしそうな鳥のイメージが崩れて、今まで感じなかった
ユ-モアさと何気なくあおってくるホラー感が前面に出てきました。
ホラーに感じるのはきっと私の頭がついて来れていないからなんだ
らうと思いました。

○印

図

A B C **D** E F

2

点を提出しました

学生番号 8253

氏名

山口美月

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委縮する。

タイトル

大家族

一行目

この絵を初めて見た時は「鳥の中の空と鳥の外側の空が対照的だね。」と思いました。なぜそれぞれ対照的な空を描いたのでしょうか。バックの空を暗く描くことで鳥との中空を目立たせたかったのでしょうか。次に思ったことは「なぜ海が描かれているのだろうか。」でした。鳥は空を飛ぶ生き物なので、鳥と空が一緒に描かれるのは理解可能である。なぜ海なのでしょう。空だけではいけないのでしょうか。暗い空は水平線に向かって明るくグラデーションがかかっている。確かに海が無ければ水平線近くの明るくなっている空がなんだか抜けているように見えてしまうかもしれない。さらに、暗い空と海が同じような色で描かれているので絵に統一感がある。統一感とは海と暗い空の色だけでなく、鳥の内側と外側の空によっても作られていると感じる。それは、鳥の内側の空と外側の空は色や雲の雰囲気は違いますが、「空」という同じものも描いているからだと考えます。そもそもなぜ鳥のシルエットが描かれているのだろうか。この作品名は「大家族」だ。鳥はいくつかの卵を育てるという印象があるので題名が「大家族」なのも納得できる。しかし「大家族」という題名であるのに鳥が一枚しかいないことや「家族」というと一見温かいような印象を受けるのに、赤などの暖色と呼ばれる色もほとんど使っていないことに違和感を感じる。作者はあまり恵まれた家庭環境ではなかったのか。鳥は巣立つ種類のものも多い。もしこの羽はたっている姿を巣立っていく姿だとして、その内側に穏やかで明るい空が広がっているならば、大家族の中にあつたなんらかの束縛などからの解放を表わしているのではないかと考えた。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日: 6月4日

印 A B C D E F

1 点を提出しました

学生番号 8230 氏名 小山 可みらい

作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。 大家族 / 大塚 (マグリット)

空を鳥がははたく事が現実である事に対し、空が鳥をははたかせる非現実と併せの中に
絵描いているように感じた。あけぼのの海の上に快晴がははたく鳥、背景がうす
暗く、なっている事で、この絵画で一番目をひいたであろう鳥を鮮やかに描きだした
印象が強い。海の上に浮かぶ雲は小さくわたあめのような形をとり、ふんわりとしたものかまへん
なく、散りばめられているイメージもあり、この絵描かれた鳥は海の上にいる、とい
ふんわり感じさせる。海は早朝で波が少し荒く人気がない、静かさと波の音を
感じさせ、切りとられたような快晴の鳥で雲にまじり、根山のハトが空中をははた
かしているようにも見える。作品と作者の、中学の時に見た作品の印象が強く記憶に残る作品。
朝のあけがた → 動物達か眠りからさめて動き出す、朝がら昼へ動き出す鳥が
ははたかしている、静かな海を感じさせる背景 → 鳥がとびたつ風景、静 → 動き
この絵画の情懷とは、山を感じさせる。

他の視点がら見つめてみると、上の空はどんよりと暗くなっているようにも見え、
下は明るく、絵の中の暗かた鳥が、良い天気をつれてきてくれたかのようにも
とらえる。 / ができる、ホッとして、ネガティブ、どちらの思考でも楽しめる絵画に感じた。

VTR感想

見かけはわかりやすく見えるものの、とてもそうそうを越える味わいのある作品。
「広い海の上を鳥が飛ぶ想像を絶する事」を表現しているという事で、確
かに、作品物からは想像することのできない壮大さを感じられる。

日常のカメラをとおして表現するというのが、作風は大空を描いているものか
ら、マグリットの日常に規模の大きさを感じた。

26歳という若い年齢での作画の確りつという事での絵画もとく
ち、強い「マグリットだけに描くことのできるブレのない世界を感じた。
この作者の世界観は非現実と現実を組み合わせたモノで、見る側
が楽しめる、という意味での惹かれる作品が多い。

想像を絶するほど規模の大きい作品物をつけることにも面白く感じる。

(2023.10.10) (大家族) ここまでに収めること (裏面には書かない)

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日： 月 日

○印
A B C **D** E F

図

5 点を提出しました

学生番号 氏名
8242 嶋崎 桐花

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

「大家族」

一行目

まず、この作品は非現実的な架空の世界を描いた作品であると考え。

大きな鳥を空に描いた輪郭線は抽象的な線であるが、背景に描かれた空や下部の海の情景は細かくリアルに描かれている。

この違いは何かと考えれば、リアルに描かれた光景による現実の世界と、鳥の形に切りとられた闇に見える架空の世界の違いを描いたものであると思う。現実的な世界での情景では、

空模様は暗くどんよりしているし、海の波は高く荒れているのかわかる。これは我々が生きる現実世界での苦しみや悲しみという負のイメージを連想させられた。白波が立つ海がこちらに向かっていることは、何かを追われるような気持ちになり、しかしながら遠くに位置して去っていくようにも感じられさみけを感じた。

タイトルが「大家族」であることから、人間や動物などの直接的な描写ではなくとも家族という存在価値を示している気がする。大きな鳥が羽ばたいている姿には包容力を感じたり、地平線に見える茜色の空には温かきを感じた。家族というものは、不安と緊張感の中で包容力、温かきをくれる存在であるというメッセージを受け取ることができた。

解説VTRを見て理解できたのは、「ソラとする」ということだ。たしかに、わかりやすいようで奥が深く、何となく不気味な感じがあるマグリットの絵だ。題とは全く関係がないような絵で、大胆かつ予想できない構成だが、違和感はなく見ていられるし考えることが出来るのは、マグリットのメッセージ性を強く与える絵だと感じられる。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日 月 4 日

○印

図 A B C D E F

4 点を提出しました

学生番号 氏名

8246 廣森真徳

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

大家族

1行目 後ろの夜明けのような、曇りのような空や、鳥の中
 の晴れた空、海がとてモリアルに描かれて
 いるのに、真ん中の空の鳥がとてモ
 アンバランスだなと思いました。どんな
 空でも鳥はいるんだよというメッセージ性
 のある絵なのかなと思いました。大家族ってなん
 なんだろうと思いました。こういう現実にはありえ
 ないような景色を描くのが得意なのかなと思
 いました。この鳥はカカガキという鳥だとみな
 されていて、カカガキは家族の愛や団結を
 象徴しているらしく、鳥を大きく描いたのは
 その家族愛や団結の深さや強さを表した
 かったのかなと思いました。題名と作品の
 意味や見た目が違う作品が多く、得意と
 いうので、もしかしたら題名にはあまり意味
 がないのかも思いました。宇都宮
 美術館に所蔵されているらしいので少し見
 たいなと思いました。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日: 6月4日

○印

A B C **D** E F

2 点を提出しました

学生番号 氏名

8251 吉田 風羽海

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

幸福

一行目

うす暗い天気の中、とりの形の青い空、雲がある。
 とりの形がしっかりしていてデザイン性が高いなあと感じた。
 荒れた海と、天気の悪い世界の中で、青いとりはとこを輝いて見える。平穏な日々の中で起る幸せよりも、苦しみやつらさの中でかき消す幸せのほうが人は幸せと感ずると私は思う。
 いつでも元々あたりまえのこと、例えば、風邪のとき歩くのもつらいとき、普段歩いていることを幸せに感ずる。苦しみの中だからこそ何げない幸せに気がいたり、そのごとのおぼらげに感ずることが出来る。この絵をみて私は、という、晴いからこそみつけられることのできる光というものを感じた。
 海という広い空間の中にとりというものが、神秘的な雰囲気は人間の姿、精心を写しているようにも思う。
 何気ない日々こそが実はとこも幸せなこと、何でも不機嫌化していくような現代の中で、人々の幸福度は下がっているように思う。幸せを求めてしているはずの行為が実は幸せを奪っているのかもしれない。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日： 月 日

○印
A B C D E F

2 点を提出しました

学生番号 氏名
8247 吉野 西

タイトル
作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。
大家族

鳥がどこか... 形的に鳥は描けるが、その中身は青い空。
 空は二り、と成った。不思議な印象を与えている。鳥に描かれた空には
 明るく「青空」のイメージそのままだ。鳥が飛んでいる(?) 周りの
 空は、どよよりと不安定なイメージを伝える。空であるとしても、
 この絵を不思議に思わせる要因の一つなのかもしれない。
 そして、少し荒れているような大海原...。本来、この海と、周りの
 空だけが描かれたものであれば、まあ普通の絵。「海に遊びに
 行くといいもの。あつて天気悪いやん〜」といった、あの気持ちと
 思い出す。普通の風景。この風景の中に鳥がいても、全然おかしくない。
 だが、その鳥がバカどかい。しかも青い空。いきなり違和感「マジMax
 にあげよう。鳥さんグリーンバックかよ。」
 ここで、もうあらかじめ、解説を見としてみた。この作品はマグリットが
 描いたもので、タイトルは「大家族」...「は？」と成ったが、それは置いておいて、
 鳥と空について調べてみたのだが、マグリットはこれらに「選択的親和性」
 を感じ、絵にしていたという。選択的親和性とは「連想させる」といった意味
 で、マジカルバタの自覚的なものである。「バタといった黄色い」的な感じだ。
 マグリットは「大空といった鳥」と思い、絵に描かれていたらしい。
 また、周囲のどよよりと空の中に鳥と青い空を描くことで、平和で
 明るい未来が待っている、といった希望を感じさせるものにしたそう。
 そして、「大家族」というタイトル。私はこのタイトルを聞いた時は「思わぬ
 「は？」と成ってしまったが、それと同時に、暗く荒れている大海原と周りの
 風景だが、遠くには光と見える明るい地平線が描かれていることに
 気がき、おそれ、大家族の苦悩や困難とこの現時点の大海原で表わすの、
 きつとこのうち明るい空が海を覆い、やがて青い空を映し出す。澄んだ
 穏やかな海になる(=平和で仲むずかしい家族になる)ということなのだろうか、と感じた。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日： 月 日

○印

図 A B C **④** D E F

2 点を提出しました

学生番号 氏名

8235 小野 由人

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

「鳥」

鳥は空を飛ぶ生き物だ。そしてこの絵には鳥が描かかれている。まるでこの鳥が飛ぶためにあわてて空を描いたみたいだ。静かな朝の海と空は鳥の中の青空と別の空間であって、朝と風のコントラストを作っている。時間的にも空間的にも全く違う空と鳥。仮にこの鳥の輪郭の内側を中、外側を空と呼ぶことにします。中を見るとき翼の部分は画面いっぱい開いていて、尾の部分も水平線を底にしたようにピッタリ貼りついている。非常に凛々しい鳥の羽はたきに見える。じゃあこの鳥はどこに行きたいのか。この空を見る限りでは「中」の方が良い天気と過剰にやさそうだし、忘れていたけどこの鳥は本来小さな鳥と鳥カゴの中にいるような種だろう。おっと大空を飛んでも結局は自分の中に閉じこもった方が快適なんじゃないか。そんなXで感じている。鳥の頭部はしがりやと雲で描かれ、羽の前後感があらわれている。この絵の作者はマグリットかと思うが、他のマグリットの絵より印象に残りやすい。どうしてか。リアルではあるが絵画的なのだ。他の絵より。それは鳥の中に前後感があるとはいえ、空間である「空」に平面的な「中」がぽんと置かれているように見えるからだ。そんな違和感が心に留まって印象に残るのだ。書いている途中で思い出したことが、トイストーリーの空とこの絵の「中」は色合いや雲の間隔が似ていると感じたが、それももしかするとこの絵の青がトイストーリー制作4-6の心に染みついていたのである。浮遊感が多い鳥ではおかしそうだからもういいよ、この絵の鳥がいなくなった後も描いてあってほしい。

○印
A B C **D** E F

2 点を提出しました

学生番号 氏名
8211 藤本 悠平

タイトルの欄
作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。
青空 → 大家族

(1) 絵を最初に見たときの素直な感想は「暗い」というものだった。それは、全体的に黒系統の色が使われていたからだ。絵が目に入ってきたとき、空の黒さや、海の荒々しさが強く感じられた。しかし、時間をかけてゆくり鑑賞することによって、地平線の周辺が明るくなっていて、暗い空との対比をしていることに気がついた。また、中央に大きく配置されたハトは青空で表現されており、幸せを運ぶハトが青空を運んで来たようなイメージを持った。

この絵のタイトルを決めようと考えているとき、1番目は「闇」にしようと思った。なぜなら、前述した通り、暗い印象を最初に持ったからだ。2番目に考えたタイトルは、「明暗」だ。暗さと明るさが入り混じった作品であるように思えたからだ。そして最終的につけたタイトルが「青空」だ。この絵で一番目につく中央にハトを配置し、青空を描いている所に、作者が一番伝えたいことなのではなにかと思ったからだ。

(2) 解説を聞いて思ったことは、タイトルが予想と全く違っていたということだ。どう見ても大家族には見えないため、なぜそのタイトルにしたのか、作者本人に聞いてみたいと思った。あえてミスマッチなタイトルをつけるマクグットは、わかつやくとさせてくる。そこがおもしろいのかも知れない。私は暗い空との対比をやるためにハトが青空の色をしていると思っていたが、そういうことではなく、広い海に想像を絶する大きさの鳥が飛ぼうとしている光景であるということに、自分一人では思いつかない表現だと感じた。日常の光景を切り離し、別の環境にするという行為は人を不安にさせるとともにおもしろさを生み出している。

また、26歳でスタイルを確立し、死ぬまで変えなかったのは意志が強いと思った。同時代に活躍したダリの作品も、人を不安にさせる表現を用いており、私がか好む画家の一人である。特に「記憶の固執」は中学生の頃に知り、ゆがんだ時計や周りの状況に不安を感じながらも美を感じた。明るく、不気味でユーモアのある作品は、いつの時代も愛されていると思った。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日: 6月 4日

○印
A B C **D** E F

2 点を提出しました

学生番号 8222 氏名 鈴木 彰悟

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

空を喰らう

大荒れの海がある風景、ネガティブな印象に思える。
分厚い雲が飛び立つ鳩の形に晴天に塗り変わっているのは、
何か希望や未来といったポジティブなイメージを抱かせる。
しかし、ネガティブにとらえようと思えばそれも可能なようだ。
本来、鳩は質量を持つ実体であるが、この絵の鳩は
質量を有していない存在であり、それどころか「分厚い雲」
という質量を喪失させているマイナスの存在でもあると言える。
言わば空間を喰らう怪鳥、空を食いつぶしなから成長する
虚無の使者。この鳥が人里までやってきたら人間も取り込み
かもしれないし、そうなれば大きな被害をもたらすかもしれない。
ポジティブにとらえ方をすれば、人里までやってきたこの
鳥は人間を取り込み、中の人間を爽やかな青空で照らして
くれるかもしれない。とにかく言えるのは、この鳩は想像を
絶する程巨大で、およそ地球上の生物の常識には
当てはめられない存在ということだ。巨大である、というこ
とはそれだけで恐怖の対象となる。とあれば、ネガティブな
印象を受けるのも当然かもしれない。

解説を聞いたあと

マクリトの他の作品を見て感じたのは、やはりこの絵が表現
したかったものはネガティブなもの、例えば不安感や恐怖心
といった感情なのではないかということです。動物への
恐怖、空への恐怖、海への恐怖、そして、超常への恐怖。
技術的なことで賞が糸田かと思ったのは、雲のカーブで
ハトの頭と翼の境目を明確にしている所です。

○印

☒ A B C **D** E F

6 点を採出しました

学生番号 8239 氏名 坂本 晃基

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記述する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を記述する。

「 大家観 」

一行目

解説を観た後の感想

この作品は中卒生の頃見たことがあります。

確か広島の前知事トビウタに奉じて、その作品であったと思えます。

この作品にはどこか不思議なものが感じられます。

それは何故なのか、そして平和の象徴であるハトと剣はどのように、そして空がその図りをとりかこんでいるからでしょう。ですが、ハトの向こう側には、広がる青空が描かれています。どこかグレースフルのようなものが感じられます。

解説を聞いた後の感想

マガジンの「大家観」。おまじにその題目が、いつかかわしくはいのではないのでしょうか。この絵は一種のグレースフルなものであり、ガリと同じジャンルに入るものらしいです。

ですが、何故彼は平和の象徴をこのように使ったのでしょうか。平和なものを、不思議な空気の中に置くことで、平和というものを強く主張したのでしょうか。それとも、トリックアートの制作活動の延長線上に制作されたものなのでしょうか。作品にはそれだけの必然性があるかと考える私は前者を信じます。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日：6月4日

○印

図

A B C (D) E F

2

点を提出しました

学生番号 8226 氏名

山本純輝

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

大家族

17日

この絵は薄暗い空の中に巨大な鳥のシルエットがあり、その内側には青空が広がっている。曇り空とは対称的に青空が描かれていて、何か別の空間が広がっているかのように感じます。鳥が巨大に見えるのは、水平線によって肩の一部がとぎれており、はるか向こうにあるのだと思わせられているからだと思います。遙か向こうにあることで、手の届かない別の世界なのだということが一層感じられます。鳥のシルエットをよく見ると、足が出ていることがわかりますが、このことから自分は巨大な鳥かどこからともなくやって来て、まさに地球に降り立とうとしているように感じます。薄暗くて誰もいない空に囲まれた孤島の海岸に自分かいて、そこに巨大な鳥が自由や幸福を一緒に運んできた瞬間を目撃した場面を描いているようにも思えます。全体的な印象としては、中央との明暗の対比がとても綺麗だということです。解説動画を見てもう一度この絵画を見つめてみると、最初に思っていたのと対称的な感想を持ちました。自分は巨大な鳥が「希望」を運んできたと感じていましたが、希望を感じたということは他の部分に絶望や不安を同時に感じていたことに気づきました。この巨大な鳥は今まさに降り立ったように感じていましたが、もしこの瞬間が鳥が飛び立つ瞬間なのならば、逆に「絶望」を感じます。この未知の鳥をどう意味付けるかによって感じるものがまったく異なるこの薄暗さと青空の対比はどこか不吉で面白いものだと思います。それと、中央にいるのは鳥ですが、これは「生物」であることに意味があるように感じます。仮に、円形の中に青空が広がっていても意味は感じませんし、感動もしません。絵画における「生物」とは自然物より強いメッセージ性を含んでいると思いました。この作品を見て、何か2つのものを同時に感じさせてくれるような作品をもっと見てみたいと思いました。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日： 6月4日

○印
A B C **D** E F

2 点を提出しました

学生番号 8223 氏名
永井 竜聖

タイトル
作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。
挑戦

一行目
どこかの海を描いている。荒波である。日本でいうと日本海のような。そして曇。た空。この曇は積乱雲であろうか。今にも雨が降り雷が落ちてきそうな様子だ。しかし、絵画の中央には大きな鳥が描かれており、鳥の体の中は晴れはれとした空が描かれている。そして遠くに目をやるとそこに曇は無く太陽の暖かい光が見える。この鳥は形状から察するに「ハト」ではなか。ハトは日本では平和の象徴である。故に、私は何か暗い現実 困難、苦勞の先に平和や明るい未来 成功があることを暗示している絵画であると考察した。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日： 6月4日

○印
図 A B C **D** E F

4 点を提出しました

学生番号 氏名
8254 松宮 康太

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を記載する。
自分で考えたタイトル「青に挿ぐ」

一行目

実にシンプルな画面だ。構成する要素が少ないことにより、訴えかけてくるものが大きい。今にも荒れ狂いそうな海、空の中に、鳩の形をした明るい空が広がる。(何の鳥かは見る者により捉え方に違いがあるが、今回は鳩として論を進める。)

鳩というのは古来「平和」の象徴とされる。その「平和」が、青空をベースにして画面に広がっている。周りが荒い海だからこそ、それがより際立って見えるのだと思う。荒ければ、荒野や焼け野原でも良いのではないかと思うが、荒れる海、空とほの暗い青にすることにより、鳩の中の青がよりクリアに、ライトに見えるのだ。

シンプルな構図、色の使い方により、明暗を簡潔に、意図を清々しく伝えることができるのだと思う。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日 6月4日

○印

図 A B C D E F

5 点を提出しました

学生番号 氏名

8241 小野寺海香

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要約する。

舞う鳥

空と海、というとてもシンプルな要素で構成されてい
 て、色も、寒色を中心に使用されていてとてもまよきがある。
 おちついた雰囲気もあるが、巨大な鳥の形に切りとられた
 ような、空が2つあるなんとも不思議な絵だ。鳥は羽を
 大きく広げていてとても躍動感があり、その部分の空
 は白い雲と水色の空でできている。そのほか、天気が良さそうに
 しか、その周囲の空は、これから雨が降るのかもしれないか
 と思うほどの曇天である。ほかに雷もおちてきそうだ。海
 は波がたっている。こちらが波に近づてくるような波の動きが
 見えてくる。大まかに2つの空と、海という3つに分けられた、
 とてもシンプルな要素達はまるで写真を切り貼ったかのような
 印象である。それだけ描写が本当にリアルな気がする。
 この鳥は一体何鳥なのだろうか、海を渡る鳥なのだろうか、もし
 くは神話に出てくるような不死鳥などの類いののだろうか。
 (2) 映像を見て、マグリットの大家族という作品だ、そのよう
 にタイトルを言われてもどのあたりが大家族を意味してい
 るのかまったくわからない。こんなタイトルがあることにより見
 方が変わってくる。空と海と鳥という馴染みのある要素で
 一見わかりやすいにも見えるが、この要素の組み立て方により
 突然不安にさせられたり、ぞっとする。こんな想像を絶す
 る巨大な鳥がいたら本当に恐怖を感じるし、またこのリアル
 な描写がそこに拍車をかけている。このようにマグリットの絵
 は、身近にあるはずのものを、世界を日常的環境から
 切り離しておきかえってしまうような感覚にさせるような力を
 もっているのだと思う。

ここまでに取りめること (裏面には書かない)

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日：6月4日

○印
A B C **D** E F

図

2 点を提出しました

学生番号

氏名

8232

加藤 綾

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

「孤独」

(1) 寒色でまとまっていたのに透明感があった感じが良かったです。鳥以外の暗いなどんどんとした背景が鳥の鮮やかさを引き出している。鳥がはばいてる様子に自由を感じます。背景の不穏さから夢の中にいるような不安定感を覚えます。波や空で解放感を感じます。空の背景が上の方が暗い色なので、画面全体が重く感じる。逆にこの絵で唯一暖色である背景の黄色に希望を見つけられます。波のリアルさと鳥のデフォルメの形が対比的で不思議。でもその不思議感がとても好き。

(2) 日常的にみているものを非日常的空間にして組み合わせるとどうなるか不安感を覚える、ということもものすごく共感しました。だから不安に感じるんだと思いました。最初自分がこの絵をみて思ったタイトルが「孤独」だったので、「大家族」という自分のテーマとはまったく逆のタイトルがつけられていた、ということに驚きました。しかもそれが「あえて」ということにマグリットの意図が感じられます。解説の中に「飛びたようにしている様子」と言っていました。私はすでに「飛びたように」と思っていたので、解説を聞いてあらためて鳥を見直したのが、確かに「飛びたようにしている」という方が当てはまるなと思いました。しかもそれが見ると、飛びたようにしているどころか飛びたことおらず、大きく翼を広げ柱大な空の柄で描かれているのに、暗い空の中で飛びたようにしているという矛盾感というこんな表現をできることに魅力を感じました。この矛盾感やどことなく感じよう不安感がこの作品を最初に見たときに感じる美しさにつながっているんだなと思いました。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日：6月4日

○印

A B C D E F

点を提出しました

学生番号 8236 氏名 中島 楽人

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

平和の象徴

一行目

鳩だ。ドンと真ん中に鳩がいる。鳩の部分だけ青空だ。雲り空の中の青空シルエットでインパクトもある。雲っている部分は不安や争い、負のイメージを持っているように思われる。対照的に青空は安心感、平和、良いイメージを持っていると思う。なぜ鳩は平和の象徴なのだろうか。確かに鳩はカラスみたいな恐ろしいは無いし、大通公園やその周辺を平和そうに歩いている。かあいいし。しかし、鳩がなぜ平和の象徴なのか。スズメでも良くな...か？ ヌジロも良いな。このシルエットは鳩なのか。鳩なのだろう。鳩というのはシルエットでおかきやすい。スズメとかヌジロのシルエットはあからずい。イメージのしやすさからみれば、平和に選ばれたのかも知れない。この鳩は飛び立つのか、はたまた降り立つのか。この違いで線のイメージも変わってくるだろう。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日: 6月4日

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 8243 氏名 高松波那

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記述する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を記述する。
「自由」 『大家族』 スグリット

一項目 ★ 荒波に曇天の空あまり明るイメージの天
気ではないですが、その中心には大きく鳥が
はばたいており、その体は晴れの空をうっし
ています。この鳥は多分ハトだと思います。
さきほどは鳥がはばたいていると言いました
が、曇天の空に鳥の形がくりぬかれその向こ
うに晴れていいる空があるふうにも見えました。
ハトには「平和」や「自由」などを象徴して
いいるイメージがあります。そして、曇天と対
称的な晴れ。この絵画では厳しい社会状況と
曇天と荒波が表し、平和で自由な社会を晴れ
のハトが表していいるのではと思います。空と
いいうのは制限が無いものであり、自由という
イメージをより強めていいると思います。自由
になるだとか、平和な世界へはばたくといっ
たメッセージが込められていいるのではないか
なと思いました。

★ タイトルと絵画の関係性がよくわからない
作品だなと思いました。空と海とハト、身近
にあるものではあります。これらがどう『大
家族』を表現していいるのかなと思います。空
も海も生き物もみんな兄弟みたいな感じなの
か... なら大地もあ、た方がいいうし考え
れば考えるほど謎が深まる作品だと思ひます。
もしかしたら視覚的に楽しむための絵画で
特に意味とかメッセージとかは ここまでに収めること (裏面には書かない)
無いのかもとも考えます。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日: 6月4日

○印

A B C (D) E F

2 点を提出しました

学生番号 8240 氏名 杉本 茉里

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

翼

1行目

この作品を一目みてわかることは、まず鳥の形をしているということだ。それもただの鳥ではなく澄んだおだやかな空模様だということだ。しかしそれとは逆に、鳥の周りの景色は波が高く濁っていて、空の様子も晴れやかではなく、くもっていることで不穏なイメージをもたせる。まるで嵐が来る前の海の様子である。

最初に私が思ったことは、鳥と晴れやかな空から「自由」を連想した。辛く悲しいような事ばかりからの解放といったことである。昔から鳥は自由の象徴としてよく表現されている。空も広くどこまでも続いているようなイメージがある。よって上記のように考えたのだがよくよくみると疑問がわいてきた。本当にこの鳥は自由にはばたいていこうとしているのだろうか。空は嵐がくる前のように、波が高いということは風も強いということだ。風が強いということはもちろん、鳥にとっても飛びにくいのではなからうか。私にはこの鳥がまだ地上に近いところで翼をはばたかせはじめているようにみえてきた。そうすると、この鳥と空の絵は最初に考えたこととはまったく別の意味をもっているように思えてきた。困難に立ち向かい、そしてそれを乗り越えるための第1歩を表現しているような絵だ。鳥自身が澄んだ空をしているのはそれを行うことにたいしての後悔やためらいがないという心を表しているようにもみえる。画面に対して鳥が大きく描かれているというのも何かの暗示かもしれない。気持ちの強さといったものだろうか。

もしかしたらこの絵は嵐がくる前に一休みをしようとする図かもしれない。嵐から逃げようとしているのかもしれない。けれど私はあえて立ち向かっていくという絵してみたいと思う。そちらの方が、人に前を向いていく力を与えてくれるような気がしたからだ。

○印
A B C **④** E F

3 点を提出しました

学生番号 氏名
8278 寺山 留菜

タイトル
作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。
空舞う白い鳥 (大家族)

第一印象は美しい作品だと感じました。絵の3/4以上は大きな鳥が存在感も表しており、その飛んでいる様は鳥の中に描かれている青空も相まって美しいと感じました。背景は鳥の中の青空とは対象的に、少し天気が荒れてくるような暗い雲がやってきている際中のような天気で描かれています。下の海は奥は緩やかに、手前は少し波が押し寄せてきている感じがあります。そんな背景から鳥の形を切り取ったかのように、きれいにくり抜かれています。私が考察するには、渡り鳥をイメージしていて、遠い向こうから旅をしてきて、どんなに天気が晴れていたり荒れている日でも、こうして大きく立派になんてやってきたのかなとイメージしました。はたまた、外は荒れているのは外見の乱れを表現しており、鳥の中身は自分の心の内を表現しており、晴れ度たっているきれいな心身を表現しているのかなとも思えます。この大きく翼を広げた大きな鳥は、心の広さというのもしかしたら表現しているのではないかなと感じました。しかし、その晴れている空といっても雲がもくもくと数多く存在しています。何を表しているのが不思議に思えてきます。心の迷いが生じてきているのか。更に背景の空は上から下にかけてグラデーションになっており、下の方は少しオレンジ色が差しこんできています。太陽の光が暗い空が覆いつくすような、隠れていくようなそんな雰囲気があります。この作品は空の状態に 대비가 あって、強弱つけられているのがとても魅力に私は感じました。絵画作品ではありましたが、この切り取られている大胆さと斬新な構図から、一種のイラストのような作品だと思いました。そして鳥の大きさも、小さい鳥を描くのではなく、何倍もの大きさに拡大して配置することで見る側に視覚的にインパクトな印象を与えています。解説を見ても、この鳥は「カササギ」という鳥であり、ブリッセル近郊では日常的に見られる中型の鳥のようである。この鳥からは家族単位内の愛と団結象徴するものであるみたいである。ここから考えるには、この鳥の大きさはその家族愛と団結力の大きさを示しているのかなと考えます。そう考えてみると、そのスケールさにより見る側に大きさというのが伝わりやすいように感じます。この作者はこのような作風が多いので、他の作品も見てみたいですね。

ここまでに取りめること (裏面には書かない)

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記入してください

美術感想文

手書きする

提出日: 6月 4日

○印

図 A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 氏名

8229 梅津 塔有

作品の題名が解った人は、それを記述する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を記述する。

タイトル 大家旗

① 海は荒れ狂っていて、空はどんよりとしている。画面に大きく描かれていざいざか少し希望にも見える。1つの中が青空というのがあるから平和的にも感じさせる。二つの中がまっくら世の中を暗く何かから目出し出してくるのではないかと思う。たいてい、自然の猛威には反勝できない人類はまっくらから戦っていかなくてはならないという覚悟も読みとるべきかのような気がする。海に向う側が暗いところからまっくら、恐怖、楽しきとまっくらも含めて終わるものではない、というやはり希望的な感じしてしまう。

② マグリットは好きで画家である。たまたまこの作品を知っていたので題名も覚えている。明るく不気味というキーワードにとてもおもしろい、そしてまっくら、その通りだと思える。普通はマグリットの作品のように、不気味になってしまおうと思える。色彩も、背景も描く対象も、全てが暗く、じとじと、何と何として感じている構成をみてしまうと思える。マグリットの作品にはほんとうに神秘的な感じが強く感じられる。クリアで近づくと良くなる感じがして、そのまっくらの中を感ずる。これが決して普通の状況ではないものを描く、とても繊細に。

マグリットの作品は本当に物をよく見とくだけ11パーセント近づけるか、勝負のカギとなるでしょう。美しいものは細部まで美しく描かなくてはマグリットの作品ではありません。だから、あじいんです。こんなに大胆にしてもあまり目立たせないのは難しいです。空、海、鳥という情報量の少ない中で、こまごま深い作品を作ってしまうというのはやはり世の中の裏、人が知らぬ部分を知っているからこまごまというのがあると思うんです。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日 6月4日

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 氏名
8207 高子梨中凡

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記述する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

大家族

- (1) この作品を見て初めに、モーセが海を割ったかのように、誰かの
手が空を鳥の形にくり貫かしたのではたしかと神秘的な印象
を受けました。
- また、晴れとくもり(④荒れた海)が対称的で、晴れは
楽天的、くもりは悲観的で憂鬱な気持ちになりました。
- それでも、憂鬱の中に光く薄くオレヅグがおり、微妙な
希望を鳥が運んできたのではたしかと思われました。鳥には
悪いイメージは二重にたか、正義はたかではないかと思ひます。(幸福
を呼ぶハト?)。
- また、暗い風景の部分は時間が動いてるよう感じるのは
対し、鳥の部分は浮いて、時間が止まってるように思えます。
- 鳥も動く気配はたか、嵐を必死に止めようとしてるのでは
ないかと応援したくなるような気持ちになりました。鳥が溶
け込まず自我を保ってるように見え、嵐も鳥のほうが優勢
に見えました。
- 鳥をどうやってくり貫いて描いたのかは分らばいのですが、境界
線がはっきりして、また、重心も配置も安定して、見
ると薄く安心感を感じました。作者は見る人に対して
安心感を与えたいのかなと思ひました。

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 氏名
8205 横谷 梨穂

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

大家族 (27リット)

欄の部分が切り抜きやコラーージュなどでおもしろいと思います。周りから取り空なのに対して欄の部分のみ青空なのも対比が美しいと感じます。また私は海が好きなので、白波のたっている姿にゆくゆくします。しかし取り空を映していることで山や木を感じられ、むしろ重苦しい嫌な海になっているので残念です。私は重苦しい世界に必要とされている自由、平和や鳩と青空で表現しているのではないかと思います。くもり空と海のせいで画面がほぼ灰色なので、より鳩と青空の美しさ、自由さが強調されているのではないかと思います。また、鳩は平和の象徴とされているので、モチーフから内容を連想しやすいのかなと思いました。また、建物からたくさん建っている街中の風景を描くのではなく、海の風景を描いたのは、鳩を下で描写するためというのを加え、海の方から見える明るい光を描写するためなのではないかと思います。どんなに暗い世界にいても希望は必ずある、ということを海の先の光で表現しているように感じました。

「清潔な明るさ」で現実を少し離れた不気味な世界を描いているというのは、相取の要素に見えるようなものを良いバランスで組み合わせるのやり方で行っていることで、そのバランスをのりこむことが難しいというのを26歳で確立したということは大変な天才であったということなのではないかと思いました。確かにこの少し不気味な世界はキコに似ているように思います。キコは「不安の予感」を描いていると動画はないはありましたが、27リットは社会によって受ける不安というよりも、本能的だったり、無意識下で自覚することのない夢や不安を描いているように感じました。また絵画内だけでなく、題名にもすでにその世界が侵食しているのにおもしろいと思いました。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日： 6月4日

○印

図 A B C (D) E F

6 点を提出しました

学生番号 8215 氏名 田島 梨

作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

タイトル 平和

(1) 雲に覆われた暗い空。それが鳥型に切り取られ、青空が広がっている。これは一体、何を暗示しているのだろうか。そもそも、この鳥は何だろうか。鳩のように見える。もしそうだとしたらこの絵は、今現在何かしらの辛い状況に置かれている人へ描かれたものなのではないだろうか。辛い苦しい状況を、暗雲の立ちこめた空とそれを映した海で表し、海から飛び立ち青空を切り開く幸せの象徴、鳩を描く事で、現状を打破して幸福を手にする様子を暗示したのではないだろうか。今、私がこれを書いている間にも、色々な状況で苦しんで生きている人達が、きっと沢山いるのだと思う。この作品は、その人達へのメッセージなのではないだろうか。「現状、辛いかもしれないが、ここを抜け出すことが出来れば、きっと晴れ晴れとした青空が広がっているのだ」という、エールなのではないかと、私は思う。

○印

A B C **D** E F

図

5

点を提出しました

学生番号

氏名

8203

姉崎 由奈

タイトル

大家族

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

一行目

波がある海や雲り空とは対照的に青い空と白い雲の鳥のシルエットが印象的な絵です。マグリッドの絵はトリックアートじみたものが多く気がなるので少し怖くて観てしまいましたが、この絵はそんなことはなさそうです。この鳥の青さは海にいる鳥の美しさや身軽さを表わしていると思いました。波や風、雨の降る自然の激しい中、わざわざ見える朝や夕から現れる鳥の輝やかさを感じます。鳥、自体には自由に飛ぶので自由なイメージがあります。また、この鳥は周りが雲っているから鳥の形を認識することができています。周りの空が鳥のシルエットと同様に青い空と白い雲であったのなら、この鳥の存在に気づくことはできないのです。周りが暗く荒れているからこそ輝いて見える鳥です。この鳥は誰か人の象徴なのでしょうか。

解説VTRを観ました。確かに、マグリッドの絵はどれも不気味さや夢の中のような絵が多いです。見ていると頭が痛くなりそうな気持ちです。「大家族」という題名を聞いて何が大家族なのだろうかと思いました。初めこの絵を見たとき、私の頭には少しも家族が思い浮かばなかったのです。「大家族」という言葉から思い浮かべるのは「ギヤカタが騒がしい、楽しそう、けんかが多そう」というイメージです。(私の思うイメージです。)「ギヤカタ」とい、楽しそうという面は鳥の青さが、騒がしいけんか、家族間での問題は海や暗い空が表現しているのでしょうか。それと、家族自体を鳥が表しているのでしょうか。鳥は画面いっぱい描かれて強張されているので題名を背うのに相応しいようにも思います。VTRでも先生がおっしゃっていましたが、空、海、鳥という身近な自然を並べただけであると言えば並べただけである。さらに「まご色々考えたが結局はどんな意味が込められていたのかわからなかった。「大家族」という題名に後半は引はられてしまいましたが、この絵は題名も不思議な構図も含めて、見る人それぞれに幅広く解釈することができる絵なのかもしれない。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日: 6月 4日

図

○印
A B C D E F

2 点を提出しました

学生番号

氏名

8210

白谷愛理沙

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

平和のはて

一行目

私は中学生の頃、この絵を美術の教科書で見たことがある。
そのとき思ったのはこの作者は頭が良さそう、ということ
だった。ハトは平和の象徴である。そのハトのシルエットの中
に青空を、そしてその周りに荒れそうなおやぶを緑色で描き
くもり空(しかも黒い)を描くことにより、不穏な空気を
平和で満たしたという思いが伝わってくる感じがした。
この絵は、たしかおヌマ一太郎の絵だが、たしかに、もしこれが
戦いと昔に描かれたものなら、冷戦か暗黒時代を
風潮したものではないのか?と考へた。もし、それ以前
前だったとしても、ハトも戦争、第四次中東戦争、など、
私達の周りにはたくさん戦争があるか、と思った。
今では、アメリカと北朝鮮の空気ははやりあっているし、
イスラエルと中東の方では紛争や内戦が絶えないうつ
り。どうして人はこんなにも争いをしてしまうのか、
正直疑問に思ったりするが、自分のことを最優先に考へ
てしまうからこの仕方がないのかもかもしれない。こんな言葉
を聞いたことがある。「平和な時代には平和な開けた絵は
あまり描かれない。乱世の時代には平和的な絵が好まれないと。
私達人間は人間の歴史が始まり、たとえいつか、争い、こ
はつともなかった。「平和」とは口で言っても、それは自分の周
りだけだったり、広い視野で見ると平和な時代だったとすると
全く無い。この絵は、私達人間の自分勝手な都合で
争いを起す心理に、問いかけているのではないかと思ふ。

ここまでに取りめること(裏面には書かない)

○印
A B C **D** E F

2 点を提出しました

学生番号 8213 氏名 浅野日和奏

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

マグリット「大家族」

一行目

この絵を見て感じたことは、普段空の中を飛ぶはずの鳥が、空を飲み込むくらい大きな大きさを描かれていることだ。鳥の姿が切り取られた部分は暗々とした青空が広がっているのにも関わらず、それ以外の部分はどんよりとしている。これが何を伝えたい絵なのかまでは読み取ることが出来ない。ただ風景の色使いも実際の色に忠実であり、突飛な色使いが見られるわけでもない。ここで解説を見て、再度絵を見ることになる。タイトルは鷗の「大家族」、水の上を親子のカモが泳いでいたり、渡り鳥が青空の中を飛んでいる絵であれば、そのタイトルが分かる。しかし、あえてミスマッチのタイトルをつけるというのはどういうことだろうか。それに加えて、マグリットの絵の最大の特徴は、馴染みの深い、日常的なものから切り離して非日常のものにする、ということだ。なるほど、既視感のある色使いに、一瞬、何の変哲もない光景と思いきり変わったが、マグリットの思いつきだけであらう。そうすることで他の意味があることを暗示し、またタイトルをつけることで意味合いまでもが変わっているのだ。マグリットはもともと抽象絵画を描いていたが、キリコの絵に影響を受け、26歳でスタイルを変更し、幻想絵画に専念した。人物の顔には表情がなく、他の画家が描く幻想絵画が陰湿で不気味なのに対して、明るくて不気味な絵はユーモアを持っていた。その点だが、日常生活の中でも「マグリットの眼を持って景色を見ることで、よりユーモアや空想力が芽生えるか」と思っている。

○印
A B C (D) E F

4 点を提出しました

学生番号 8294 氏名

佐々木 文峰

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

明日への希望

絵を見てすぐ、「平和」という文字がうかんだ。画面に大きく描かれた鳥のシルエットと、中のすんに空色が、そう連想させる。でもただ「鳥」だから、というだけでは「平和」と直感でかきなかつたと思う。この鳥がハトのような形をしているからだろう。ハトといえば「平和・自由・希望」の象徴としてよく描かれる。画面の鳥は大きくうきはさをひろげ、今にも飛び立ちそうな姿は解放的で、前向きなイメージがある。それに対し、背景の空と海はまた暗い。これは作者が今置かれている状況のひゆなのではないか。でも、それだけで完結はしていない。海を見ると色りが白くなっている。夜が明けようとしているのだ。そのとき、この絵は「平和」ではなく「希望」を表していると思った。そしてどこまでも広がって、いくようなイメージを感じた。この絵には空が2つある。一つは鳥の中にある、スカイブルーのようなさわやかな空。二つは背景の鉛色の明けかかっている空。これらは作者の心と周りの環境ではないか？空や海は常に暗れているわけではない。たとえ暗闇の中だったとしても、自分の心だけはどんなときも暗れていない。そういう願いがこの作品には込められていると感じた。

ここまで収めること（裏面には書かない）

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 8212 氏名 宇藤 美羽

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。
自分で考えたタイトル 「希望」 / エグジビット 「大家族」

一行目 **最初の感想** 鳥の形の中に描かれている晴れた青空がきれいだと思った。鳥の形の周りは暗く、曇っている感じがあるし、画面の下の右に描かれた海は静けさを感じさせるわけではなく蒸れているように見える。だが、下から光が差し込んで来たり、そこから青れていくか、朝日が昇るかのような、明るくなる未来を想像することが出来る。よく、幸せの青い鳥というが、この鳥も青であり、幸せを運んで来てくれることを表しているのだろっか。全体が青色でまとめられており、その中に黄色、オレンジ系の色で描かれた光が映えている。鳥の中に描かれている雲のバランスもよく、見ていて心地が良いのだ。背景と鳥の関係が今一つ伝わってこない。この鳥は柄として見ていいのか、生き物として見ていいのかが分からない。鳥をメインとして見ると、空や海を背景と呼んでしまう他がない気がしてしまふ。鳥と空、海の存在がどのように設定されているのかが気になる。

解説を聞いて タイトルが「大家族」と聞いて事が驚いた。タイトルと絵のどこが一致するのか疑問であるが、タイトルと絵に関連性がないことで観る側の絵に対する意識が変わるというのを知っていて意識的にそうしているのかも知れないというのは考えさせられた。作者としてはタイトルと絵には関連性があるのかも知れないが、どうなのかな気になる。エグジビットは私達が見慣れたものを日常的な環境から切り離して別の環境に置き換えてしまふというのを知って、「大家族」を見て私も少し混乱した部分があったので納得した。「明るく不気味」という表現の仕方がとてもしっくりくる画家だと思った。

○印
A B C D E F

5 点を提出しました

学生番号 8233 氏名 越浪 実由

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。
旅立ち

(1) 鳥がとび立ちとしているシルエットの中の空は澄んでいて明るいのは、未来へとび出つた
 常気や希望を感じさせるのに対し、背景はうす暗く、朝焼け？夕焼け？そして少し蒸れた
 海が、絶望感や暗い気持ちや連想させます。でもこれが朝焼けなら、これから空は
 明るくなっていくので、結果的に明るい未来を表しているとも言えます。でも私がこの絵を
 初めにみたとき「暗くて不安な絵だね」という印象でした。細かくみれば考えると、先述の
 通り「明るい未来」を表現していると考えられるのはこの絵の不思議な部分だと思
 います。この鳥はなんという鳥でしょうか？海にいらからカモ？もし暗いことを表して
 いるならカラスの類？この鳥は何を考えているのでしょうか。これから新天地に向けて
 飛び出つた高揚感？この土地にずっと居る平凡さへの悲壮感？

(2) 「大家族」 マグリット

タイトルと絵のミスマッチが不安感を増強させ、見る人によって違う解釈や方向をさせる魅力が
 他の画家よりもつよいと思います。広い海の上に大きな空柄の飛行機が、モチーフは
 日常的にあるものでも、組み合わせや構図、かき方によってこんなに不安にさせられる
 のか、とおどろきもありました。「明るくて不気味」本当にこの言葉通りの絵で、他の絵
 画も明るくて不気味で実際に見たら更にもっと明るくて不気味な雰囲気を感じる程なの
 だらうなと思いました。元々かいていた抽象画は私の好みでしたが、この明るくて
 不気味な絵は、本当にみていて不安感があってあまり見たい！と思うような程では
 ないです。でもそれが「マグリット」の魅力でもありまして、見たいでも見たくないが相互
 におどろくる不思議な感覚です。

○印
A B C **D** E F

り 点を提出しました

学生番号 氏名
8201 稲辺 みのり

タイトル
作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は【自分で考えたタイトル】を要する。
「大家族」

この絵は何度か見たことがあります。私はこの絵を好き!とか嫌い!とか
そういう感想はでてなくて、単々と見てしまいます。

この絵は近代に描かれた絵だと思いのですが、少しめずらしい感じの作品
というか現代アートにとても近いものを感じます。今、現代作家が描いたと言わ
れても何も違和感が無いと思います。今名画とされているのはこの作品
が発表された当時、新しい感じの作品で時代の変化の表れや人々の話題原
を呼んだことも影響しているのかはあつて思っています。

なぜ鳥?なぜ空?って思いのですがこのモチーフには"平和"のイメージを連想
しました。何の種類の鳥なのかかわからずいけれど、嶋は平和の象徴だとい
うイメージが強く、嶋に見えなくてもいいか?と思ったからです。それと、
鳥の内側が晴れた青空だからです。青空には幸せで平和なイメージが
あるし、作者もそのような意図があって青空を描いたんじゃないか?と思
います。でも、鳥の外側の景色は薄暗く曇っていて海も波打っており、
今にも雨が降り出しそうな感じが悪いことを感じます。でも海の境界線の
辺りの空は白く明るく輝いて夜明けの時間帯かだと思います。
新しい朝が来るタイミングに、平和を連想させる鳥が飛んでいる。日暮り状
況から抜けだし、平和に向かって飛んでいきたいという、希望のようなものを
感じました。その時代の民衆の思いを重ねているのかと思います。

私が不思議に思った部分がある。それは鳥のしっぽの部分です。海の
境界に鳥のしっぽの先がとけていっているように見えます。なぜかそう見える
だけだったり、そこで意味がない気もしたのですがもし意図的だったとしたら、
なぜそう描いたのか妙に気になってしまいました。

題名を言われて「大家族」だとわかったのですが、なぜかこの絵を家族に結
び付けるのは難しかったです。唯一思いついたのは、「民衆は大家族のように繋りを
持つ」という雰囲気のものなのですが、でもやっぱりよくわからなかったです。やは
りつかみどころの無い作品だと思いました。

ここまで収めること (裏面には書かない)

○印
A B C **D** E F

点を提出しました

学生番号 氏名
8209 吉野 萌美

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。

空の鳥 (マグリット) 「大家族」

一行目 青空があるかと思いきや、黒い空が広がっている。ふと離れて見て
また、青空だと思っていたのは大きな鳥で。その姿はまるでこの空にあった
青空を吸い取ってしまったかのようだ。空が荒れた時、海は同調するか
のように荒れていく。この絵では大きな鳥でしか物の大きさを判断できな
いので、波が高いのか、低いのかわからないが、恐らく嵐の前の静けさ
といったところだろう。周りはどんどん天候が悪くなって変化していくが、この鳥
だけは変わらず青空を吸ったままだろうか。それか、今度は嵐を吸って
黒い大鳥になるのだろうか。私は後者だと思う。しかし、続きがあって
嵐を吸った変わりに今度は青空を吐き出すのかもしれない。この空と鳥は、同じ
所で生きているように見え、異なる共に生きている状況を現しているのではないだ
ろうか。そう思う程、私の目にはアンバランスな絵に見える。

解説 絵とタイトルのミスなどはマグリットが狙って行ったもの。

モチーフとされているものは全て日常にあるものだが、それが構成し直さ
れており、違和感のある絵となっている。一見、意味のある絵に見えるの
だが、深い意味はなく、そこにあるのは絵として描かれた事実だけである。

しかし、彼は元々抽象主義の画家だった。それが20代で転機が訪れ、
今の作風が確立する。幸いなのは生涯この作風で描き続けたことだ。

彼の絵は違和感を感じるものが多く、それが「薄っぺらい絵」という形で確立
しているのだ。彼の絵は見てとても面白い。どれも日常で見かけるもの
なのに非日常のものとして完成してしまっている。

同じ時代の有名な画家は、リアルに描くことが多くどこか恐ろしい
と感じる絵になっています。同じく幻想絵画な作風も変わるものかと思
いしますが、この時代にはそういった絵の個性が認められていると
いう部分、時代背景も見ることもできる。登場した何作品か、見たこと
があったか同じ作者かと思っておうが贅言。

○印
A B C D E F

点を提出しました

学生番号 氏名
8214 長井 千佳

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を記載する。
「大家族」

-17日

ぼんやりと曇った空と、強く打ちよせる波が暗く荒々しい素情を出している中で、平和の象徴である鳩が大きく翼を広げている。描かれた青空が背景の暗いイメージとは対称的にさわやかで快い雰囲気をもっている。鳩の平和のイメージが暗い世界からいかに現れたかのようであり、大きな鳩が救世主や神のように光々しく青空を運んできたかのようでもある。はじめに、曇り空の世界は私たちの世界であり、災害や争いの起きている、殺戮とした世界だと考えた。いびり出されたかのような灰色の空と海が命の大切さすら忘れた絶望的で壊滅的な現代を表しているように感じる。巨大な鳩のシルエットが私たちの世界に現れると、人々は忘れ去られていた平和や身近な幸せを思い出すのではないだろうか。かつての青空がどこへ行ったのかはわからないが、私たち人間のせいで、この絵画の世界が荒涼としたのではない。世界に再び青空を取り戻すには、平和な国を作るにはといった現代の社会が抱える悩みを、この絵画は吹き消すようである。水平線がぼんやりと明るく、少し希望が見えているようなイメージを持った。鳩の存在が大きく広く、青色と白い雲の大切さを思い起こさせる。普段の何気ない景色が失なわれてゆく懐かしさや悲しさが沸き起こる。この空の違いは一体何だろう。この荒涼とした色と青空の違いは明確だ。私たちが歩んできたプロセス、歴史の中の数多くの災いと争いを吸収した鳩、鳩は地上へ舞い降りるだろうか。そうではないかもしれない。この鳩は単なる空想上のものにすぎないのかもしれない。私たちは完全に青色を失っていることに気付いていないのかもしれない。平和が残像になってゆくのを見届けるだけかもしれない。題名を知った時は、絵画に家族を連想させることができなかつたが、新たな視点を与えられた気分させられ、再び鑑賞し直すという錯覚にも似たプロセスをよく考えられたなと思った。ケリも錯覚表現を使った絵を描いていたそうだが、マグリットの錯覚は、私に考えさせる要素がいくつもあり、奇妙だった。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日: 6月 3日

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 氏名
8206 酒井 李果

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。わからない人は「自分で考えたタイトル」を要する。
平和へのメッセージ → 「大家族」

やはり、この絵を見て一番に目にとびこんできたのは中央に大きく翼を広げたハトである。ハトといえば平和の象徴だ。私はこの絵に平和へのメッセージ性を感じた。背景に描かれているのは荒れた海、ハトの中には青空が斜めに描かれている。背景の荒れた海は戦争によって殺伐とした雰囲気になってしまっていることや、人々が流した汗や涙を重く表現しているのではないだろうか。地平線の奥に、赤と黄色い光が見えるのは戦火の色であるのだと思う。重苦しく立ちこめた禍々しい黒雲がそのさびしさを物語っているようにさえ思える。一方で中央の青空の色は本当にきれいに澄みきった青色をしている。人々の希望や平和への願いをハトに込められているのではないのか。全ての人が平和への意志を持ち、戦争を放棄すれば世界に青空、つまり平和な社会が広がる、という意味をもっているように感じる。背景の暗い荒れた海が少しでも早く、ハトを糸口にして青空へと変わって欲しいなと願う。

解説を
きいてから
D
これは不思議で、実生活の中ではありえない光景。そして「大家族」という絵には関係のない題名…。説明をきいてもなおそのミステリアスさが深まったように思う。そして私が感じたようにこの作品は戦争をやめて平和な世界を目指そう、というような明確なメッセージ性をもつものではないかと少し残念だった。考えすぎてあんなに悩むのか…。絵が凄然としていて、しかも個々の感性によって絵のもつ意味を多様にみ出せるのが面白いと感じた。鳥はハトを指し、断崖は島を指し、島は島である。だが、大きく表現しているところから作者の意図があることはやや意外であった。凄然とさせているのは、作者が見ている人に想像力をかき立てさせるためなのではないだろうか。個人的に考えさせることを目的として投げかけているのではないかとさえ思わせる。壮大なテーマのわりには明確な意味を持っていないことに魅力を感じる作品だし、不思議さも含めて持つ謎の多い作品に感じた。

この用紙は、必要な枚数を自分でコピーしてから記述してください

美術感想文

手書きする

提出日： 月 日

○印

図 A B C **D** E F

点を提出しました

学生番号 8252 氏名 堀口ゆうき

タイトル 作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を委細する。

マグリット 大家族

鳥が羽ばたいている。海と空が描かれていて、鳥のシルエットの部分だけが暗れた空と浮かんでいる雲が描かれている。それ以外は暗い。天気が悪い。鳥は幸せだったり、平和を表しているような気がする。周囲のどんまりした部分は良くない事だとしたら、戦争とかの表現か...？海はどんまりしているところが無いが、その上(地平線)は明るい。希望が見える。第一印象はSNSのマークに似ているかと思った。(twitter) そのロゴマークは水色ベースに白い鳥のシルエットだが、ベースの色やマークが一緒だと思った。そのくらい現代にも不自然じゃない。実際、鳥が海や空にいても普通のことだ。ある意味、違和感が無い絵だと思ふ。そんな不思議と又少しこの絵の作者は何を伝えようとしているのだろう。幸せをうける部分より、不安な部分の方が多いため、危機感があるようにも思ふ。やはり柔い感じの予めりのような気がする。幸せが飛び込んでしまふ前の絵だと思ふ。

→ タイトル 『大家族』 1963年作 油彩 (資料見れば、ネットでも調べた)

鳥の形がどこからカササキとみ分けられており、この鳥は家族単位内の愛と団結象徴するもの。カササキはブリュッセル郊外では日常的に見られる中型の鳥で、マグリットにとっては親近感のある鳥だった。マグリットにおける大空と鳥には歴史的親和性があり、「連想させる」という意味で、ダゲルイマージュに近いものだと思われる。大家族というタイトルはイメージの裏切り。言葉と言葉が指し示す内容の相違で、客を困惑させるのが得意であるとされるマグリット。家族とはしごきとそこに耐える必要があり試練や苦難を象徴するものがあるという解釈もある。

○印
A B C **D** E F

5 点を提出しました

学生番号 8202 氏名 山崎 未来

タイトル

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を要約する。
自由な空

一行目

とてもリアルな夕焼けの海と空の風景に、まるで鳥の形に切りとった
ように晴れやかな空が、絵がなされているなと感じました。自由にとんで
いく鳥に、大きいゆわいかな空をみせて作者は見ていたのかなとも思
ったのでこのタイトルにしました。背景はとてもリアルなのに鳥の形や
青空の夕焼けはデジタルでそのバランスが逆に目をひ
くのかもしゆかいたとも考えました。背景がどんぱりして少し不気味です。
解説をみて大家族、と全く思いつかぬが、題名でとても驚きました。
「明るくて不気味な世界」というたとえにとてもしっくりきました。
女性の身体と顔を含めた絵が、特に怖かったです。でもマリートの
絵はその不気味さか不思議な魅力があるなと感じました。面白いが
とも思いました。このバランスを見てどうでもい絶妙な感。しかしマリ
トにしかできない技がのびのびとも考えました。こういう不可思議な不気味
な絵は見ているだけで不安にならざるの、この作者の心理状態はどう
なっているのか想像がつかないです。マリートの絵は見るほど「どうにかす
ておいていくように」、生きている音を残して「おぼろげな絵」と思いました。

この用紙は、必要な枚数を自分で
コピーしてから記述してください

■ 美術感想文 ■

手書きする

提出日：6月4日

○印
A B C **D** E F

□ 点を提出しました

学生番号 8208 氏名 横谷ゆき乃

作品の題名が解った人は、それを記載する。 わからない人は「自分で考えたタイトル」を奨励する。

タイトル 青い鳥 (正) 大家族

一番最初に「マグリットだ」と思いました。マグリットの代表作という印象がとても強いので、絵の内容よりも先にこの言葉が浮かびました。シュルレアリスム的な絵で、見ていると不思議な気持ちになります。鳥の外側の空は、日が昇るか日が落ちる時間帯で、鳥のシルエットの内側の空は、昼頃のように見えます。この鳥のシルエットの内と外の変化は、二面性の表現にも見えますし、時間の経過の表現にも見えます。鳥の内側の空は、トーンも明度も高く前に出てきているように見えるので、鳥の外側の空が背景で、その上に空の柄を印刷した鳥型の紙を貼り付けているようにも見えてきます。見れば見るほど疑問が増えていきます。

↓解説を聞いた後
見ていると不思議な気持ちになると書きましたが、解説を聞いて、不思議というよりも不安感を感じていたのだと気付きました。日常になじみ深いものをあえて日常から引き離すことで、明るい不気味さを生んでいるとのことですが、解説の中に何度か出てきた「ミスマッチ」という言葉がこれなのだと思えます。タイトルと画面のミスマッチ、モチーフと場の(サズメ)ミスマッチなどという言葉が解説で出てきました。ミスマッチの辞書的な意味は「不釣り合い」ですが、この話の中では「違和感」と言った方が近いです。違和感があるものを見ていると、落ち着かない心地がして、それがこの「大家族」という絵の不気味さに繋がっています。マグリットの他の絵も見ましたが、どの作品も不気味さがあったような記憶です。なぜマグリットやタリナなどがシュルレアリスムのような不気味な絵を描きたいと思ったのか、という疑問が残りました。